

## 令和5年度 2学期終業式 式辞

皆さんおはようございます。校長の山本です。

令和5年、2023年もいよいよ暮れようとしています。皆さんにとって、この一年はどんな年であったのでしょうか。

さて、この一年の最後に、今日は皆さんにお説教をしようと思っています。

私は、日根野高校はとってもいい学校だと思っています。そしてそこに通っている生徒の皆さん一人ひとりが大好きです。だからこそ、怒っています。

一昨日、成績会議がありました。そこでのそれぞれの教科を担当する先生方からの説明を聞いて愕然としました。

年が明けると3学期が始まり、あっという間に卒業式、終業式を迎えることになります。その式に成績が足りず、何人の生徒が参加できなくなるのでしょうか。

私は、今日根野高校に在籍しているすべての生徒が全員無事に卒業、進級をしてくれることを心から願っています。卒業、進級をしたいと願い、もがき苦しんでいる生徒には何とかしてあげたいと思っています。

でも、それぞれの先生から様々な助け舟を出してもらっているにもかかわらず、聞く耳を持たず、成績不振の海におぼれてしまっている生徒がなんと多くいることか。

人は、おぼれもがき苦しんでいる人がいれば、普通、助けの手を差し伸べようとします。しかし、「おい、私はおぼれているぞ。誰か助けろ」などという態度の人に、助けの手を差し伸べる人などはいません。

この2学期は、授業見学にもたくさん行かせてもらいました。もちろん、ほとんどの生徒の真面目によく勉強に取り組んでいる姿を見ることが出来、うれしく思いました。しかし、最初から授業を受ける気持ちの感じられない生徒や、先生の注意も聞かず、勝手におしゃべりをする生徒がいることには悲しくなりました。そして、そのことと成績に関係があることは言うまでもありません。

人は誰もがみな自由です。他から束縛されることなく、自分らしく生きる権利があります。しかし、それは何をやってもいいということでは決してありません。自由と、わがまま、勝手は違います。ひょっとしたら一部の人がはき違えているかもしれない自由は、単なるわがまま、勝手です。それは周りの人に迷惑を与え、その結果大変なことになっても誰も助けてくれることはないことを、しっかり肝に銘じてください。

10代の思春期はだれにでも大きな悩みや葛藤があり、とても生きるのが難しい期間です。だからこそ、人生におけるこの期間に我慢をし、歯を食いしばって努力することに大きな意味があります。年が明けてからの3学期。全ての皆さんが努力を重ね、無事に卒業式と終業式と一緒に迎えることが出来ることを、心から願っています。それでは皆さん良いお年をお迎えください。

校長 山本 好男